

2016年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	全学科						
科目名	国際社会と日本						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	水3		
必修・選択の別	選択						
担当者	岡 宏						
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>(1)国際関係における「紛争と平和」の歴史的方向性を理解し、その重要性を考えられる。(平和とは、どのような状態かを論じることが出来る)</p> <p>(2)国際関係において歴史認識の意味を理解し、その重要性を考え論述できる。 (どうすれば平和に近づくことができるかを考えられる)</p> <p>(3)国際社会と日本を考える過程で外交政策の意味を注意深く探究することができる。</p>						
日程と内容	<p>※【紛争と平和】</p> <p>9月14日 第1回 アイスマン：～「平和ではない」を考える～</p> <p>9月21日 第2回 「思い、感じ、考える」視点の整理</p> <p>9月28日 第3回 「バルカンの歴史と現代」～「火薬庫」の意味を歴史に学ぶ～</p> <p>10月 5日 第4回 「旧ユーゴ内戦」と「国際的情報の流通①」～現代を知る①～</p> <p>10月12日 第5回 「旧ユーゴ内戦」と「国際的情報の流通②」～現代を知る②～</p> <p>10月19日 第6回 「シリア人道危機」と「国際的情報の流通③」～現代を知る③～</p> <p>※【人権と人間】</p> <p>10月26日 第7回 「人権概念」～「世界人権宣言」～</p> <p>11月 2日 第8回 「人権問題」～「平和ではない」諸問題の中心・女性の人権を考える～</p> <p>11月 9日 第9回 「平和研究ノート」アセスメント～課題学習の点検と展望～</p> <p>11月16日 第10回 「人間の安全保障」～馬場伸也に学ぶ①～</p> <p>11月30日 第11回 「国際コミュニケーションとアイデンティティ」～馬場伸也に学ぶ②～</p> <p>※【共存共栄に向けた国際関係論と活動】</p>						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		研究ノート	50%			
	演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	<p>(1)「国際関係における「紛争と平和」の歴史的方向性を理解し、その重要性を考えられる。(平和とは、どのような状態かを論じることが出来る)」では、概ね達成できた。(2)「国際関係において歴史認識の意味を理解し、その重要性を考え論述できる。」は、歴史認識の重要性を概ね理解できた。(3)「国際社会と日本を考える過程で外交政策の意味を注意深く探究することができる。」は、時間の関係上、課題提示に留め、文明共存の視点から向き合う必要性を示すに終わった。</p>						
反省点	<p>今年度は、パワーポイントを多用した講義をのため、数回を除いて講義内容を整理したハンドアウトの作成を行わなかった。次年度以降は、より理解を深める意味で、スライドの整理、およびハンドアウト作成を考えたい。</p>						
来年度の計画	<p>授業計画は、概ね今年度と同様に進める予定だが、反省点での記述を改善するための補助資料・教材の充実を図り、課題についても、より双方で意見交換行えるように考えてみたい。予習の充実を促したい。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>総合的に見て、特に問題はない。ここ数年、学生の満足度は年々向上している。とてもありがたい傾向である。これに慢心せず、より平易な語彙を用いつつ、さらにクオリティーの高い講義に努めたい。</p>						
履修登録者数	111名	定期試験 受験者数	95名	合格者数	83名	合格率	87%